



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号：JR-AA-23001E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>



安藤ハザマ東北支店ビル
HAZAMA ANDO CORPORATION Tohoku Branch
Building



算定単位

建築物 1棟 耐用年数65年あたり

算定対象段階

最終財 中間財

資材製造, 建設, 使用, 解体・廃棄物等処理段階

製品の型式、主要仕様・諸元

階数：地下1階，地上10階 構造：鉄骨造

用途：事務所・共同住宅 耐用年数：65年

敷地面積：1148.4m² 設備工事，外構を含む

建設地域：宮城県仙台市

建築面積：931.9m²

延床面積：7932.2m²

問い合わせ先

安藤ハザマ 技術研究所 脱炭素技術開発部

TEL:029-858-8814

登録番号 JR-AA-23001E-A

適用PCR番号 PA-241000-AA-08

PCR名 建築物【第8版】

公開日 2023年5月17日

検証合格日 2023年5月15日

検証方式 個品別検証方式

検証番号 JV-AA-23001

検証有効期間 2028年5月14日

PCRLレビューの実施

認定日等 2023年4月12日

委員長 柴原 尚希

中部大学

第三者検証者*

外部検証員 阪元 勇輝

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部

外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-AA-23001E-A



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号： JR-AA-23001E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

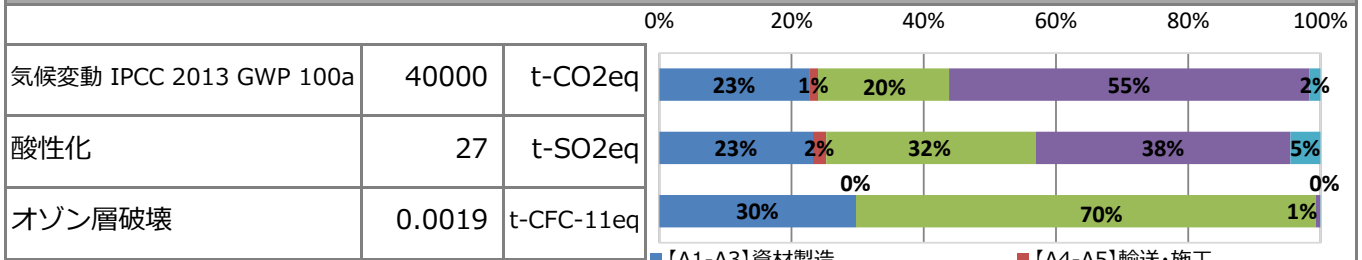
一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

https://ecoleaf-label.jp

① ライフサイクル影響評価結果



内訳	項目	単位	合計	[A1-A3] 資材製造	[A4-A5] 輸送・施工	[B3-B4] 修繕・更新	[B6-B7] 運用	[C1-C4] 解体・輸送・廃棄・リサイクル
	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	t-CO ₂ eq	4.0E+04	9.0E+03	5.3E+02	7.8E+03	2.2E+04	6.5E+02
	オゾン層破壊	t-CFC-11eq	1.9E-03	5.5E-04	4.2E-09	1.3E-03	1.3E-05	5.1E-07
	酸性化	t-SO ₂ eq	2.7E+01	6.2E+00	5.3E-01	8.4E+00	1.0E+01	1.2E+00
	光化学オキシダント	t-C ₂ H ₄ eq	8.2E-01	4.7E-02	2.1E-03	7.0E-02	7.0E-01	2.4E-03
	富栄養化	t-PO ₄ ³⁻ eq	1.1E+00	1.2E-03	3.7E-12	2.7E-03	1.1E+00	1.7E-03

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	kg
非再生可能エネルギー	MJ
再生可能資源	kg
再生可能エネルギー	MJ
淡水の消費	m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
木類	4 %
プラスチック類	2 %
ガラス類	1 %
コンクリート	66 %
金属	28 %

※端数処理により合計欄の値と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	kg
無害廃棄物	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号： JR-AA-23001E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>

⑤ 算定結果に関する追加情報

【評価対象範囲・プロセスに関する追加情報】

- ・ 建築工事（山留、杭、土、躯体、仕上）、雑・ユニット工事、設備工事、外構・その他工事を対象としています。
- ・ 全ライフサイクルプロセスを対象としていますが、使用段階における「B1 建物からの物質の放出」（例えば、冷媒・断熱材からのフロン漏洩等）、「B2 維持管理」（建築物の日常的なメンテナンス（清掃、エアコンフィルターの交換、使用者の活動に伴う排水、廃棄物等）は含まれていません。また、「B5 改修」（用途変更による大規模改修工事など）は想定していないため対象外としています。

【活動量に関する追加情報】

- ・ 建築資材の投入量については、設計・積算情報を用いています。
- ・ 投入資材のうち、複数の素材で構成される製品において同等製品の原単位がない場合、構成素材を分解したり、主要な構成素材に相当する原単位を用いて算定しているものがあります。その場合、「A2 原材料の調達」、「A3 加工」にかかるエネルギーはカットオフしています。
- ・ 使用段階のエネルギー使用量は、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）における省エネルギー計画書（WEBプログラム使用）情報を用いています。
- ・ 施工時のエネルギー投入量については当社データ（鉄骨造の施工実績に基づく・電力、灯油、軽油使用量/m²）を用いています。
- ・ 解体時のエネルギー投入量については、PCR10-4「【解体工事時の燃料使用量に関するシナリオ】に基づく文献データ（軽油使用量/m²）を用いています。
- ・ 解体後の廃棄物処理・処分に関しては、新築時に投入された資材と同量の廃棄物が発生すると想定し、木くず、廃プラスチック類、ガラス・コンクリートくず、がれき類、金属くず、その他に分類のうえ、各総重量を産廃処理、埋立処分の比率に分けてそれぞれ算定しています。

※本算定では、上記のとおり、将来投入される数量の推計値を設計・積算情報や過去の実績データや統計に基づいて活動量を収集しているため実際の活動量と異なる場合があります。そのため、本評価結果は概算値としてご理解ください。

⑥-1. その他の環境関連情報

- ・ 本建築物は、事務所部分で建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）による建築物全体評価にて最高ランクおよびNet-ZEB認証（100%以上エネルギー削減）、賃貸共同住宅部分でBELSによる建築物全体評価にて最高ランクおよびZEH-M Oriented認証（20%以上のエネルギー削減）を取得しています。
- ・ 本建築物は、「地域特性を活かした、健康かつ生産性の高い、省エネルギーな次世代オフィスビルづくり」を目指して、Net-ZEBについては、井水利用による天井輻射空調方式をはじめ、さまざまな環境技術を採用することで一次エネルギー消費量を56%削減、さらに太陽光発電により45%のエネルギーを創出し、合計で101%の削減を実現します。
- ・ 本建築物は、マットスラブおよびCFT柱充填部のコンクリートに低炭素型コンクリートを約1,400m³採用しています。それにより約180 tのCO₂を削減しています。

※詳細情報については<https://www.ad-hzm.co.jp/info/2022/20221121_01.php> 参照ください。



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号： JR-AA-23001E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。

⑧備考

変更日：2023年6月8日 →海外製品番号の追加及び誤記修正

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)

登録番号： JR-AA-23001E-A